

いせはら 社協だより

令和7(2025)年
11月発行

ホームページ

社会福祉法人
伊勢原市社会福祉協議会

☎0463-94-9600 FAX0463-94-5990

〒259-1131 伊勢原市伊勢原2丁目7-31 (伊勢原シティプラザ1階) <https://www.isehara-shakyo.or.jp> E-mail : info@isehara-shakyo.or.jp

法人化50周年を迎えて 会長 佐伯 妙有

伊勢原市社会福祉協議会は、昭和50年に社会福祉法人として認可され、令和7年に法人化50周年を迎えました。

これまで本会を支えてくださった市民の皆さまをはじめ、福祉団体や関係機関の皆さまの温かい御支援と御協力に、心より感謝申し上げます。

この50年の間に、昭和・平成・令和と時代は移り変わる中で、社会の構造や人々の暮らしも大きく変化してまいりました。地域におけるつながりが希薄化する中、誰にも相談できず、適切な支援に結びつかないまま孤立やひきこもりが深刻化するケースが増加しています。また、物価の上昇などの社会情勢の影響により、生活に困窮する世帯が増え、子どもの貧困といった新たな課題も顕在化しています。

このように、市民の皆さまが抱える課題は年々多様化・複雑化しており、地域福祉の果たす役割はますます重要になっております。私たちは今後も、「共に支え合い、一人ひとりを大切にするまちづくり」を理念に掲げ、誰もが暮らしやすい地域共生社会の実現を目指し、役職員一丸となって邁進してまいります。

引き続き、皆さまの変わらぬ御支援と御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



社協ってどんなところ？

伊勢原市社会福祉協議会（以下、市社協）では、さまざまな事業をおこなっています。そのため、「社協」と聞いて思い浮かべるイメージは、利用している事業や関わり方によって人それぞれかもしれません。この50年をふり振り返り、地域の皆さまと関わりのある事業を中心に市社協の取り組みの一部をご紹介します。

地域活動立ち上げ支援

地域ごとに異なる課題に対し、地域の方々の参加と協力のもと、課題解決に向けた取り組みの立ち上げを支援しています。

地域の方々による取組

- ・上平間台支え合いサポーター(H25年～)
- ・東高森団地買い物支援(H27年～)
- ・東沼目見守り隊(H29年～)
- ・放課後児童見守り活動「なるっ子」(H31年～)
- ・放課後児童見守り活動「みどりっ子」(R3年～)



東成瀬子育てサロン

月に1回成瀬コミュニティセンターで開催しています。
(協力：成瀬地区民生委員児童委員・主任児童委員)



外国人サロン「そらsky」

月に1回、市社協会議室(伊勢原シティプラザ1階)で開催しています。
(協力：伊勢原インターナショナルクラブ)



見守り事業(紙おむつ支給)

在宅で生活し紙おむつ等を必要とする方がいる世帯を月に1回訪問して、紙おむつ等をお届けしています。(協力：伊勢原市民生委員児童委員協議会)

障がい児・者ふれあい交流

知的障がい児・者とその家族、地域の方々がイベントを通して交流しています。

11月「みかん狩り」
1月「成人を祝う会・新年の集い」
(協力：伊勢原市手をつなぐ育成会)



生活応援配分会

善意銀行やフードドライブにお寄せいただいた寄付金・寄付品を活用し、生活にお困りの方を対象に配分会を実施しています。

【協力企業等(株等省略、順不同)】

アマダ、伯東、まごころ弁当伊勢原店、市光工業労働組合、SOMPOケア



夏休み子どもの居場所作り

夏休み限定で、勉強スペースの開放と子ども食堂を実施しています。勉強スペースでは、ボランティアさんに協力いただき、子ども達の勉強のサポートと、見守りをしています。



善意銀行

市社協では、「寄付したい」「何かに役立てて欲しい」そのようなお気持ちから寄せられた金品をお預かりしています。寄付いただいた金品は、市内のボランティア団体や市民活動団体等が実施する事業、福祉施設等に配分する他、生活応援配分会などで市民の方へ配分しています。

令和4年度からは、「もっと気軽に寄付をしたい」という声から、フードドライブを開始し、食品だけではなく日用消耗品等のお預かりもしています。

継続寄付団体



日本発条労働組合厚木支部



向上高等学校なおき会

※平成27年より10年間継続してご寄付いただいている団体

南部地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう介護、福祉、保健、権利擁護などさまざまな相談に対応し、支援する総合相談窓口です。

市社協では、伊勢原市から委託を受けて運営しています。高齢者に関する困りごとや心配ごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

担当地域 東大竹・池端(小田急線より以南)、岡崎・八幡台1～2丁目、桜台1～5丁目、三ノ宮(木津根橋自治会地区)、沼目(池端自治会地区)、下平間(平間台自治会地区)
※地域包括支援センターは、お住まいの地域により担当(相談場所)が異なります。

電話 0463-71-6616

場所 伊勢原シティプラザ1階 市社協内

受付時間 月曜日～金曜日 8:30～17:00
(土日祝日・年末年始は休み)



老人福祉センター阿夫利荘

大山の麓の自然豊かな中にあり、高齢者が健康で明るい生活を営めるよう、伊勢原市から委託を受けて運営しており、趣味の教室などの開催の他、館内にある大浴場では毎月地区ごとの老人クラブで入湯会を実施しています。

また、毎年4月には、ひとり暮らし高齢者を招待し、桜まつりを実施しています。

電話 0463-93-1006

場所 伊勢原市大山195

開所時間 月曜日～金曜日 8:30～17:00
(土日祝日・年末年始は休み)



いせはら訪問介護事業所

介護保険や障害者総合支援事業、地域支援事業などの制度により、ヘルパーが高齢者や障がい児・者の家庭を訪問し、家事や身体介護、移動支援など日々の生活を支えるサービスを提供しています。

電話 0463-95-9550

場所 伊勢原シティプラザ1階 市社協内

受付時間 月曜日～金曜日 8:30～17:00
(土日祝日・年末年始は休み)



眠っている資格を活かしませんか

訪問するヘルパーを募集しています。資格があるけれど働いたことがない方でも大丈夫です。親切丁寧に教えます。お気軽にご連絡ください。

社協会費へのご協力ありがとうございます

市社協は、市民の皆さまからの会費、善意銀行への寄付金、共同募金の配分金、市や県からの補助金や委託金を主な財源とし、事業運営を行っています。財源の中でも、皆さまからの会費は、地域の実情に応じたさまざまな事業に活用させていただいており、地域福祉を推進するうえで大きな力となっています。今後も、本会の趣旨にご理解いただくとともに、会費へのご協力をお願いいたします。

市社協の情報を発信しています！



ホームページ



Instagram



メールマガジン



X(災害用)

福祉教育(福祉体験教室)

福祉人材の育成を目指し、市内の学校や市民活動団体からの依頼を受けてさまざまな体験を実施しています。「ふだんのくらしのしあわせ」を合言葉に、福祉の体験を通して、思いやりの心や共に生きる力、考える力を育てています。



高齢者疑似体験



点字体験

ボランティアセンター

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい人とボランティア活動をしてほしい方をつなぐ橋渡し(マッチング)をしています。また、登録団体へ会議室等の活動の場の提供や、情報交換会の開催の他、ボランティア養成講座の開催やスマホ相談会の開催などを実施しています。



車いす体験サポートボランティア養成講座



ボランティアセンターの様子

スマホ講座(協力:auショップ伊勢原)

サマースクール

夏休み期間を利用して、小・中学生を対象にさまざまな福祉の体験を実施しています。子どもたちが楽しみながら福祉に触れ、福祉を身近なものと感じてもらえるよう取り組んでいます。



手話でお話してみよう



義肢装具体験



おばあちゃんの手芸教室



車いすバスケット体験

夏期保育体験

市内の保育園13園にご協力いただき、夏休み期間を利用し中高生に保育体験を実施しています。



団体助成

市内で地域福祉活動をするさまざまな団体の活動の推進を図るため、活動費の助成をしています。

やすらぎサービス

制度では対応できない家事援助や通院付き添いなどを行う住民参加型のボランティアです。高齢の方や身体の不自由な人、ひとり親家族など、日常生活でお困りの方(利用会員)と地域福祉に理解があり、お困りの方に対してお手伝いができる方(協力会員)からなる会員制のヘルパーサービスです。



災害ボランティア支援センター

地震や風水害等が発生し、甚大な被害が認められた場合に、市からの要請を受け、伊勢原市災害ボランティア支援センター(災害VC)の運営を行います。非常時に備え、研修会や訓練を実施しています。



成年後見制度(法人後見)

判断能力が不十分な方の財産管理や契約手続を支援する成年後見制度は、家庭裁判所が本人に相応しい援助者「成年後見人等」を選任します。

市社協では、法人として成年後見人等の業務を担う「法人後見」を実施しています。

また、伊勢原市から委託を受け、「成年後見・権利擁護推進センター」を開設し、成年後見制度に関する相談対応、申立手続の支援、市民後見人の育成並びに市民向けの講演会や出前講座を実施する等普及啓発に取り組んでいます。成年後見制度の利用促進及び地域連携の中心的な役割を担う「中核機関」として位置づけられています。

【成年後見・権利擁護推進センター】

電話 0463-94-9600

場所 伊勢原シティプラザ1階 市社協内

受付時間 月曜日～金曜日 8:30～17:00
(土日祝日・年末年始は休み)



伊勢原あんしんセンター

判断能力が不十分な高齢者や障がい者等が地域で安心して暮らすことができるよう日常的な金銭管理や福祉サービスの利用援助を行います。

電話 0463-94-9600

場所 伊勢原シティプラザ1階 市社協内

受付時間 月曜日～金曜日 8:30～17:00
(土日祝日・年末年始は休み)

生活福祉資金・援護資金

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯に対して、困りごとの相談を伺った上で、その世帯が経済的に自立し、安定した生活が送れるようになることを目的とし各種資金の貸付けを行います。

電話 0463-94-9600

場所 伊勢原シティプラザ1階 市社協内

受付時間 月曜日～金曜日 9:30～12:00、13:00～16:30
(土日祝日・年末年始は休み)

神奈川県共同募金会 伊勢原市支会

神奈川県共同募金会の支会として、共同募金の事務局を担っています。赤い羽根共同募金、年末たすけあい共同募金を行うとともに、共同募金を次世代につなぐ活動として、小・中学生を対象としたサマースクールでオリジナル募金箱づくりを実施しています。

電話 0463-94-9600

場所 伊勢原シティプラザ1階 市社協内

受付時間 月曜日～金曜日 8:30～17:00
(土日祝日・年末年始は休み)



伊勢原市公式
イメージキャラクター
クルリン



伊勢原市社会福祉協議会のあゆみ

昭和26年	社会福祉事業法が制定され、任意団体として発足
昭和29年	町村合併により伊勢原町社会福祉協議会となる
昭和30年	世帯構成資金貸付事業の開始
昭和32年	援護資金貸付事業の開始
昭和34年	心配ごと相談室を開設
昭和43年	児童遊園遊具の設置・修繕事業の開始
昭和44年	善意銀行を設置
昭和46年	市制が施行され伊勢原市社会福祉協議会となる
昭和50年	社会福祉法人の認可を得る
昭和52年	老人福祉センターへのマイクロバスによる送迎事業の受託
昭和55年	高齢者・障がい者見守り事業「紙おむつ支給事業」の開始
昭和60年	身体障害者の移送手段として「やまどり号」の運行を開始
昭和61年	老人福祉センター業務運営の受託
平成6年	やすらぎサービス事業の開始 広報紙「いせはら社協情報」第1号発行
平成7年	ホームヘルパー派遣事業の受託 社会福祉基金を設置 家族介護者交流事業の開始
平成8年	現事務所(伊勢原シティプラザ)に移転 ボランティアセンターの設置
平成10年	東成瀬子育てサロンの開始
平成11年	いせはら訪問看護ステーションの開設 ホームヘルパー養成研修事業の受託 ふれあいミニデイサービス事業の開始 ホームページの開設
平成12年	いせはら訪問介護事業所の開設 いせはら居宅介護支援事業所の開設 生活支援ヘルパー派遣事業の受託 伊勢原あんしんセンター事業の開始
平成13年	傾聴相談(友愛電話)開始 ひとり暮らし老人おせち料理宅配事業の開始 さわやかミニディ事業(現:さわやかサロン)の開始 おもちゃ病院の開設
平成15年	身体障がい者ホームヘルパー派遣の開始
平成16年	知的障がい者・障がい児ホームヘルパー派遣・ガイドヘルパー派遣の開始 精神居宅介護事業の開始 難病居宅介護事業・産褥期居宅介護事業・母子家庭居宅介護事業の受託
平成18年	障害者自立支援事業の開始
平成20年	法人後見事業の開始 いせはら災害ボランティアネットワークの設立
平成21年	伊勢原南部地域包括支援センターの受託
平成22年	高齢者・障がい者対象法律相談事業の開始 認知症サポートヘルパー派遣事業の開始
平成26年	市民後見人育成事業の受託 介護職員初任者研修の開始
平成27年	買い物支援モデル事業の実施 法人化40周年記念事業 ～法人化40周年記念誌発行～
平成28年	成年後見・権利擁護推進センターの受託
平成31年 (令和元年)	書き損じハガキ回収事業の開始 外国人サロン「そら Sky」の開始 放課後児童見守り活動「なるっ子」の開始 被災地ボランティア活動助成金制度の創設
令和2年	新型コロナウイルス特例貸付の受付
令和3年	防災備蓄品等補助金制度の創設 放課後児童見守り活動「みどりっ子」の開始
令和4年	成年後見・権利擁護推進センター中核機関として受託運営開始 生活応援配分会の開始
令和5年	福祉体験型サマースクールの開始 夏休み子どもの居場所作りの開始
令和6年	夏休み限定社協の子ども食堂の開催
令和7年	法人化50周年記念事業

社会の動き(参考:全社協HP)

